

事務事業名	間伐促進強化対策補助事業	整理番号	41203-000
所 管	農林課 農林土木スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和 60年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	林業関係事業補助金交付要綱・みどりの事業総合支援事業
基本計画における位置付け	基本政策 4-1 魅力ある農林業の振興 政 策 4-1-2 林業の振興	関連政策	

事務事業の内容

目的 (何のために)	適正な間伐を実施し、森林資源の確保・保全を図る。
対 象 (誰・何を)	市内の民有林、県単独特別対策事業の採択要件3～10齢級の森林は、県費補助を受け、それ以外は市単独事業として実施する。
手 段 (どのようなやり方で)	御殿場市森林組合へ間伐促進強化対策補助金を交付する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	適正な間伐を実施することにより、光の入る明るい活性化した山林を作り、森林資源としての価値を向上させ、なおかつ山林の保全を図る。
事務事業の背景・住民の意向 見直し改善の経過	木材価格の低迷による山林の荒廃が社会問題となっている。森林所有者が自力での間伐が進まないため補助事業への要請は高まっている。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)																
平成16年度	間伐面積 35.86ha	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <table border="1"> <caption>投入コスト(千円)の推定値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(千円)</th> <th>人件費(千円)</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>4,500</td> <td>1,000</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>4,500</td> <td>1,000</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>2,500</td> <td>1,000</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(千円)	人件費(千円)	合計(千円)	16年度	4,500	1,000	5,500	17年度	4,500	1,000	5,500	18年度	2,500	1,000	3,500
年度	直接経費(千円)		人件費(千円)	合計(千円)														
16年度	4,500		1,000	5,500														
17年度	4,500	1,000	5,500															
18年度	2,500	1,000	3,500															
平成17年度	間伐面積 39.47ha																	
平成18年度	間伐面積 16.53ha																	

評価指標

実施率(%)	実施面積累計(ha)	間伐単価(千円/ha)																														
<table border="1"> <caption>実施率(%)の推定値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施率(%)	H16	25	H17	25	H18	25	H20目標	30	<table border="1"> <caption>実施面積累計(ha)の推定値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>35.86</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>75.33</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>91.86</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施面積(ha)	H16	35.86	H17	75.33	H18	91.86	H20目標	120	<table border="1"> <caption>間伐単価(千円/ha)の推定値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>間伐単価(千円/ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	間伐単価(千円/ha)	H16	150	H17	140	H18	180	H0目標	200
年度	実施率(%)																															
H16	25																															
H17	25																															
H18	25																															
H20目標	30																															
年度	実施面積(ha)																															
H16	35.86																															
H17	75.33																															
H18	91.86																															
H20目標	120																															
年度	間伐単価(千円/ha)																															
H16	150																															
H17	140																															
H18	180																															
H0目標	200																															

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント	今後の方向性									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">観点別評価</td> <td>必要性</td> <td rowspan="3">森林資源の確保、山林の荒廃防止、森林の持つ公益的機能(山地災害防止・水源涵養)発揮のためにも間伐促進は重要な事業であり継続が必要。</td> <td rowspan="3">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>一次評価</td> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性	森林資源の確保、山林の荒廃防止、森林の持つ公益的機能(山地災害防止・水源涵養)発揮のためにも間伐促進は重要な事業であり継続が必要。	今後の方向性	有効性	効率性	一次評価	B	継続		
観点別評価		必要性			森林資源の確保、山林の荒廃防止、森林の持つ公益的機能(山地災害防止・水源涵養)発揮のためにも間伐促進は重要な事業であり継続が必要。	今後の方向性					
		有効性									
	効率性										
一次評価	B	継続									
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント	今後の方向性									
二次評価	B	森林所有者に事業の理解を得られる方策を検討されたい。	継続								

改革プラン

平成19年度からの対応	山林の荒廃防止・山地災害防止・水源涵養等公益的機能を保全するためにも継続して実施したい。
平成20年度以降の対応	山林の荒廃防止・山地災害防止・水源涵養等公益的機能を保全するためにも継続して実施したい。
改革により予想される成果	山林の荒廃防止・山地災害防止・水源涵養等公益的機能が保全され森林資源が確保される。